

第30回愛護ギャラリー展

展示会・表彰式開催における感染防止対策ガイドライン

【事前準備】

- 実行委員、協力員、搬出入者、表彰式参加者の名簿をそれぞれ作成する。
- 密にならないように、搬出入の時間を事業所ごと設定する。
- 実行委員、協力員は、1週間前から別紙「体調管理チェックシート」で体調管理を行う。

【実行委員・協力員】

- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航該当在住者との濃厚接触の予定がある場合は、スタッフとして活動できない。
- 1週間前から毎朝体温と体調確認を行い、1週間以内に37.5度以上の発熱がある場合や、熱が37.5度以下でも体調がすぐれない場合は、その時点で静知協事務局へ電話連絡する。
- 当日は、常時マスク着用（各自で用意）し来場、受付時は検温（静知協で用意）、手指の消毒、健康チェックを行う。なお、フェイスシールドとゴム手袋を支給する。（ゴムアレルギーの方は、各自で用意すること）なお、マスク、フェイスシールド、ゴム手袋は、体調によって適宜外して休憩する（三密は回避する）。
 - 作業中や休憩時、スタッフ同士で密にならないように、徹底する。（マスクをしないで大声を出さない、対面で話さない、咳エチケットを守る等）

【搬出入者】

- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航該当在住者との濃厚接触の予定がある人は、搬入できない。
- 1週間前から毎朝体温と体調確認を行い、1週間以内に37.5度以上の発熱がある場合や、熱が37.5度以下でも体調がすぐれない人は、搬入できない。

【搬出入受付】

- グランシップ入館後は、マスクは常時着用し、受付で、検温、手指の消毒をする。
- 待機列になった場合は、2m間隔で目印をしてあるので、間隔を空けて待機する。

【会場内（搬入中）6階展示ギャラリー1.2.3 12月7日（火）】

- 密な状態にならないよう「感染予防対策への協力」ポスターを各所に貼り、感染予防対策を来場者に常時声掛け等する。
- 作品陳列時、会話による飛沫感染や共有工具や備品などからの接触感染を防ぐため、マスクは常時着用し、大声での会話は避け、頻繁な手洗いと手指消毒をする。

- 共有工具は、使用后、消毒し返却する。
- 他者と共有するものに接触した場合は、速やかに手洗い、手指の消毒をする。
- 会場内の、手すりやドアノブ、イスの背もたれ、電気のスイッチ、内線電話など、不特定多数が接触する場所は、スタッフが定期的に清拭消毒する。
- ゴミは各自で持ち帰る。

【表彰式（6階交流ホール）】

- 出席者（受賞者、支援者、プレゼンター）は、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航該当在住者との濃厚接触の予定がある人は、出席できない。
- 1週間前から毎朝体温と体調確認を行い、1週間以内に37.5度以上の発熱がある場合や、熱が37.5度以下でも体調がすぐれない人は、出席できない。
- 当日は、常時マスク着用（各自で用意）し来場、受付時は検温（静知協で用意）、手指の消毒、健康チェックを行う。
- 受賞者（と支援者）は、開始15分前に受付をすませ、指定された席に座る。
- 密な状態にならないよう「感染予防対策への協力」ポスターを各所に貼り、感染予防対策を来場者に常時声掛け等する。
- 会場内で、手すりやドアノブ、イスの背もたれ、電気のスイッチ、内線電話など、不特定多数が接触する場所は、スタッフが定期的に清拭消毒する。
- ゴミは各自で持ち帰る。

【会場内（展示中）12月9日～12日】

- 来場者は、グランシップ入館後は、マスクは常時着用し、受付で、検温、手指の消毒をする。
- 受付が待機列になった場合は、2m間隔で待機する。
- 会場内が三密を避けられないとスタッフが判断した場合は、入場制限をする。
- 他者と共有するものに接触した場合は、速やかに手洗い、手指の消毒をする。
- 手すりやドアノブ、イスの背もたれ、電気のスイッチ、内線電話など、不特定多数が接触する場所は、スタッフが定期的に清拭消毒する。
- ゴミは各自で持ち帰る。
- 入口から出口まで原則一方通行とする。

【展示会・表彰式中止の決定】

- 静岡県知的障害者福祉協会会長が状況を鑑み、中止適当との判断を下した場合は、HPに中止の決定の掲載をする。